

2024 年度事業計画

(2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日)

我国の国民 1 人あたり鶏卵消費量は 330 個を超え、世界第 2 位の鶏卵消費大国である。

しかし、2020 年から 2023 年にかけて発生した新型コロナウイルス感染拡大による消費減少や、2022 年シーズンに発生した鳥インフルエンザの感染拡大により、過去に経験したことのない鶏卵の供給不足が生じ、その後供給面はほぼ回復したものの、特に加工向けや業務用向け消費の回復が鈍く、この対策が急務である。

このようなことを踏まえ、HACCP に基づいた鶏卵の安全・安心への取り組み、鶏卵の正しい知識普及、食材としての素晴らしさを伝える等、消費拡大に注力することが肝要であり、2024 年度の事業計画は次の通りとする。

(1) HACCP 関連事業の推進

食品衛生法改正に伴い、鶏卵の安全・安心を推し進めるため、HACCP 関連事業の推進を図る。

- 1) 食品（鶏卵）の製造工程管理による安全・安心を確保するため 2013 年に GP センター HACCP 認証団体を立ち上げ、2023 年度末現在、認証 GP センターは 45 施設となっている。

更なる認証施設の拡充を図り鶏卵の安全・安心に取り組む。

- 2) 食品衛生法等の一部を改正する法律の施行（2021 年 6 月 1 日）に伴い、厚生労働省通知「卵選別包装施設の衛生管理要領」が廃止されたことに伴い、HACCP 導入の手引書を引用するよう周知を図る。

(2) タマリエ検定の充実及び普及

1) 三ツ星タマリエ検定の推進

三ツ星タマリエ検定は、農林水産省後援の下、2012 年に開催して 13 年目を迎える。

業界はもとより、一般の受検者や高校生の受検者も年々増加し、鶏卵の正しい知識普及に貢献していることから継続事業とし、東京会場（6 月）大阪会場（10 月）にて開催する。規定に則り希望があれば出前検定も開催する。

2023 年度末現在 認定者数 2,752 名。

2) 五ツ星タマリエ検定の推進

五ツ星タマリエ検定を開催して5年目を迎える。合格者は狭き門であり、2023年度末現在 認定者数10名。

たまごの正しい知識や魅力を啓発するイベントの講師や、各種メディアが卵について取り上げる際の出演者として、活躍する人材育成の一環として開催する。

(3) ヤングミーティングによる知識啓発情報発信事業

1) たまごニコニコ大作戦の拡大

たまごニコニコ料理甲子園等を通じ、これからの食を担う高校生に、たまごの素晴らしさを伝える活動を行う。

2) 国際養鶏養豚総合展（IPPS）2024 に参画

JAPAN EGG AWARD の開催

鶏卵業界で活躍している個人・団体を選抜して、たまごの素晴らしさを伝える活動を来場者にプレゼンテーションし、内容を評価し賞を与える。

(4) 畜産物輸出協議会に参画

鶏卵輸出部会へ参画し、世界一安全・安心な「日本のたまご」の輸出を促進し、我国鶏卵産業の安定的な発展に寄与する活動を行う。

(5) 見学研修会・講演会を開催し、専門的知識を会得し会員相互の知見を高める活動を行う。

(6) 同業他団体と協力し、鶏卵の正しい知識の普及、消費拡大、安全・安心への取組みに参画。

- ・ たまご知識普及会議への参画
- ・ 「オムレツの会」オムレツの日のイベント等への参画
- ・ 中央鶏卵規格取引協議会の市販鶏卵の品質検査への参画
- ・ いいたまごの日への取組み
- ・ 鶏卵公正競争規約に則った活動への参画

(7) その他鶏卵に関わる事業